

“名香 和らぎ”発想の経緯

- ・「自民党も民主党もそれなりに」という結果で選挙が終わり、2大政党時代の幕開けといわれているが、われわれ零細の線香屋としては、それよりも1日でも早く景気が回復したという、希望の光を感じたいものである。
- ・しかしお線香の世界も例に漏れず、価格競争に突入してしまっており、「香よりも価格」の風潮が益々強まる傾向にある事がきにかかる。低価格で安価なお線香が悪いというのではないが。
- ・しかし、しかしである。安いお線香を作る為（シェア競争に勝ち抜く為）、生産を中国やマレーシア等、人件費の安い近隣諸国に移管する流れに同調する以外に生き残る策は無いのであろうか？
- ・それ以外にキットなにか方法があるはずだ。そんな想いの実験（試み）の一つが「社会福祉法人ばなな モンキーばなな」様との出会いであり、新しいお線香「和らぎ」とその販売の仕組み（リンク）である。
- ・「和らぎ」の仕組みは三方一両損ではなく、「四方一両徳」の発想である。又、この試みを単なる実験に終わらず、ビジネスとして成り立つ仕組みとして完成させる事が、当面の目標である。我々のこの新しい試みが、他の方々の刺激にでもなれば、それは望外の喜びである。
- ・「和らぎ」ネーミングは、殺伐としている時代だから、少しでも心に和らぎをとの思いをことばにした。

創業享保年間 香 老舗

奥野晴明堂

“名香 和らぎ” 仕組み図

